

アタリ



出島行ってきた。

出島号 | No. 00012
平成26年05月05日(月)
発行 書肆べう
ながしるぼんり

長

年の懸案であった出島に行ってきた。長崎の出島

と云えば、江戸時代にオランダ人を閉じ込めてまるまる太らせて食用にした場所として有名なところとして小学校の教科書に載っている(そんな莫迦な)。これは往っておかねばならぬ! という気になる。



↑もう駅の表示から龍が舞っているあたりがタダモノでない感を感じ出す

昼

前に電車で長崎に着いた

我々は五〇円で路面電車一日乗車券を買う。路面電車は一回一律一二〇円であるので、五回乗ると元が取れる算段である。

出

島、長崎駅前から三駅で

ある。出島、埋まっている。

衝撃であった。一本の橋だけでつながっている扇形の島を想像していたらサニアラズ、明治三十年に埋め立てられておる(今、調べました)。で、現在はまた扇形に掘り起こす作業をしていて、当時の遺構を覗いたり出来るようになった。観覧料を取った資料館という風情だ。

と

にかく白人の観光客が多いなあ、というのが率直な感想である。路面電車でもホテルの朝食バイキングでも半数に近い客が白人である。姉弟のいる家族四人組があつたので、はてさて、バイキングではどんなものを食べるのか、と観察していると(悪い見だ)子供はコーンフレークばかり取ってヨーグルトをかけて食べている。ほれ、鱈の南蛮漬けにも挑戦せんかい。余談ですが、海外旅行に行つてその土地の食べ物を食べようというのは比較的日本人特有のものらしいですね。東南アジアのサミットで、小泉総

理の時分、ホテルのレストランで地元の料理が食べたいというので料理人が感激したという話を聞いたことがある。どうでもい話やな。

日

本からは金だの銀だのが輸出されていくんだが、逆に海外から輸入したものは砂糖が多かったようで、砂糖の倉庫ばかりある。その他に薬品、本、ロケットブースター、サビオ、スーパーひとし君などが取引されたとももの本にはない。バラスト代わりの砂糖を金銀に積み替えて帰つたというのだからいい商売である(これは本当)。

こ

こでも大勢の白人がツアーを組んでいる。人気スポーツなんであるが、なんでもオランダ本国がフランスに併合されたときに、世界中で唯一オランダの旗が翻つていたのでここ出島だそうである。カピタン(商館長のことである)。当然出島の周囲は埋め立てられて窓の向こうに立体駐車場なんかが見える。昔は海があつて船も停まっていただろう、というところを大勢の外国人観光客と一緒に歩いて入っていった。思ったより大人しくガイドの話を聞く。

カピタン屋敷の厨房で我々を待ち受ける当時の様子(レプリカ)。客商売とはいえそんなに手が疲れないのか気になる。吊るされている豚の福利厚生も心配だ。



禁酒

酒きらひになる法
苦勞の種の大酒呑み
も人知れず容易に禁
酒の出来る事請合



東京京橋區北横町貳
キンセン商会
詳細の説明書無代進呈

マママ

美言美談
マママ
マママ
マママ
マママ

元賞發

下天無二の運動機械
元賞發
會商一野式勝

べう式「アタリ」は、
書肆べうの発行する冗句と与太話のフリーペーパーです。出来れば各自でPDFをダウンロードし、プリンターなどを駆使してお楽しみください。A4版です。
御連絡はbanric@gmail.com (ながしる) まで。
Website: <http://sbew.web.fc2.com/atari/>

入 口からすぐに二階に上が
る。二階には冬至の折の
宴会の様子だの、畳の上にはべ
ッドを置いているのだのの生
活を再現したのが見られる
のであるが、少々奥まったと
ころに四畳半ほどの部屋がし
つらえてある。階段を上って
すぐにこの部屋に控えられる。
観光客付きのガイドの話では
「女中の控室」なんて云っ
てたがね、書いてある説明文
（英語）を読むと（長崎の町
から遊女を呼んだんだよね〜）
ということが書いてある（気
がする）。観光客の老婆が説
明パネルをちいーつと見て、
「Maid's room, Hal!」って呆れ
けえっておった（多分）。現に、
遊女との間に子供をもうけた
カピタンもおつたらしい、と
ここはネットで調べた。

最 大の目的は果たしたので
あとはついでである。つ
いでの旅。旅はついで。長崎
に来たからにはこころへんに
往つとかなきゃいかんでしょ、
という空気が紛々としている
のが天主堂とグラバー園に爆
心地だ。だがしかしですよ、
キリスト教とは無縁フォーエ
バーのアタクシなんぞが往つ
ていいところですかね、と若
干は躊躇したのです。もう夕
方五時過ぎたし。でも、だか
らこそ夕方にちよろつと往つ
たらいいんじゃないですかね、
という気になったのでホテル
に荷物を置いて出かける。大
浦天主堂とグラバー園は隣り
合つて、この時間だとい
うのに電車の中は白人で押し合
いへし合っている。グラバ
ー園も人気スポットなんだな。
杞 憂だった！ 大浦天主堂
下の駅に降りると修学旅
行のバス・バス・バス。京都
清水寺や安芸の宮島の参道を
思わせる土産物屋の列！ 安
心しました。観光地です。ジ
ヤニーズショップもあります。
安心しました。



大浦天主堂。「ばおーん」とか擬音をつけちゃうのは水木しげるのファンの子である。

こりゃア。この教会は信楽焼
の狸にベンチを持たせておる。
隣のベンチはなおすこい。す
ごいというか、ナンダカワカ
ラナイ。電撃ネットワークに
こういう頭の人、いたよな。



↑京都の某社あたりから訴えられかねぬフォルム



信楽焼の狸は明治時代に陶芸家の藤原鏡善が作ったものが最初とされているとWikipediaにある。

土 産物街を抜けるとありま
した大浦天主堂。正式名
称・日本二六聖殉教者堂。流
石にひっそりしておる。修学
旅行生はみんな坂の上のグラ
バー園が目当てのようだ。微
塵の敬虔さも持ち合わせない
観光客なので、天主堂も「ス
テンドグラスの色が濃いなあ」
くらい。これは特に面白いこ
ともないかなあ、と、何だい



↑おまけ。長崎だし海の幸の一つでも食おうと海鮮丼屋を見つけたが高いのなんの。観光地なので仕方がないが、広告の海鮮丼、ウニの部分に髭の外国人の心霊が（妄言）！
なお、駅前にあったイトーヨーカドー的などで海鮮丼のそばのセットを食べたので気が済みました。

グ ラバー園、なんかあった
かなあ。修学旅行生と白
人の観光客はやたらに多かつ
た。季節的に花は咲き誇って
いるが、ナウなヤングに受け
る要素はないんじゃないか。
これも「長崎に来たからにゃ」
なんだろうか。
強 いて言えばアレです。ど
の屋敷も風呂がなかった
のが非常に気になった。これ
の間取りでどこにバスルー
ムを置いたんじゃないやろう。そ
の辺の答えはついで見つからん
かった。園内でもらい風呂と
かしてたのかしらん。と、夕
暮れの庭園を駆け抜けた次第。

バックナンバーはこちら
弊紙「アタリ」のバックナン
バーはウェブサイト
<http://shew.web.fc2.com/atari/>
からご覧いただけます。
次回
他にネタがなければハウステ
ンボス編をやるかもしれませ
ん。二泊三日の日程で、出島が二日
目、ハウステンボスが初日です
が、おいしいところから出して
いきます。あと5号くらい長崎
ネタで押ししたりしてな。
といった次第で、今号は以上。

羽田ホテル 海水浴場

・本館	・別館	・プール
・スパ	・レストラン	・バー
・会議室	・宴会場	・イベント

〒840-0292 長崎市水原町2-1-1
TEL: 095-828-1111